

きょうと地域連携交付金 活用事例（令和6年度分）【南山城村】

防災力向上事業

事業の概要

【事業の目的】

近年地震などの災害が頻発している状況で地域村民の防災意識の向上及び備蓄品を備えることで災害発生時の防災力の向上を一層図る。

【事業の内容】

防災フェスタの開催及び72時間分の飲食物や衣類、衛生用品等がパッケージ化されている物資の仕分けを必要としない災害支援BOX（G72BOX：短時間で被災した人たちひとり1箱）を備えることで其々の備蓄品の開梱・仕分け・配布に係る時間を短縮し災害発生直後から特に混乱する間の備蓄品配布業務負担の軽減及び被災者への即時対応を行う体制を整えた。

事業費（うち交付金充当額）

1,213千円（606千円）

事業の実施状況

防災フェスタの開催及び災害支援BOX（G72BOX）（一人が72時間過ごす上で必要な用品を1箱にパッケージ：食品・飲料・衣類・衛生用品・防災用品の5分野をカバー）を購入。



全65品目の支援物資

事業の効果

災害支援BOX（G72BOX）の購入のほか、災害支援等を担う企業と協定書を交わすことで災害支援物資をセットした「G72BOX」の提供を受け、備蓄倉庫に備蓄し南山城村内はもとより近隣の自治体が被災した場合は、備蓄しているG72BOXを被災自治体へ提供し広域災害対応が可能となりました。